

2002～2003

No. 2

2002. 7. 20

ガバナー月信

第2640地区

Governor's Monthly Letter



2002-2003年度RIテーマ
慈愛の種を播きましょう

	目 次	PAGE
1	ガバナーメッセージ	1
2	8月は会員増強および拡大月間	2
3	今後の会員増強	3
4	ガバナー夫人の集い	3
5	クラブ広報・雑誌・会報委員長会議	4
6	第4回2002-03年度長期派遣学生へのオリエンテーション他	5
7	第1回ロータリーの友委員会	6
8	事務職員研修セミナー	7
9	公式訪問が始まります	8
10	第93回国際ロータリー年次大会	9
	ガバナー事務所からのお知らせ	10
	月信別梓掲載のお知らせ	11

Rotary International District 2640

国際ロータリー2640地区

ガバナー 小島 哲

1. ガバナー・メッセージ

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 小島 哲

会長・幹事の皆様 如何お過ごしでしょうか。今年度の活動方針も決まり、第一歩を踏み出されたことと拝察いたしております。



来月、8月は会員増強月間です。世界での会員の減少は底を打ち、多少の増加傾向にあります。残念ながら日本ではまだまだ歯止めがかかっておりません。昨年会長エレクトさんへのアンケートのお答えでは5.6%の増加をお約束して頂きました。何度も申し上げます様に、これはクラブが決定されたことであります。「増強が重要である」ことは皆さん方が充分にご承知のことですから、それ以上のことは何も申しません。どうぞ、クラブでの増強計画が達成できますようご努力をお願い致します。

今年度からOA化の波を受け、当地区でも情報の伝達にE-Mail, ホーム・ページを多用することとなり、例年お配りしておりました印刷物を全廃し、

1. ガバナー・月信
2. PETS, 地区協議会の報告書
3. 地区行事のご案内
(返事はFAXでお送り下さい)

4. 地区委員会の活動計画、及び活動報告
5. IMの報告書
6. 財団・米山への送金明細
7. PHF、功労者になられた方々
8. クラブだより

等はホーム・ページからご覧頂くこととなります。報告書の作成に要した地区、クラブの費用の削減も目的の一つですが、それ以上に事務の簡素化、素早さに重点を置きたいと思っております。事務職員の皆様へもその旨お伝え下さり、ご協力をお願いします。

「IMの報告書」はA4版4～5枚にまとめたワードのファイルをE-Mailに添付してお送り下さい、写真もお願いします。



2002-2003 年度地区区幹事

上段左より、角谷・原・林・深井・小西
下段左より、前田・中野・高寺・嶋田・浜本



第2640地区のホームページ

<http://www.rid2640g.org/>

2. 「8月は会員増強および拡大月間」 — “退会を防止しよう” —

RIMZC 第2640地区 PDG 亀岡 弘



優れた新会員を見だし、年間少なくとも数名を推薦することを自分自身への課題にする必要があります。新会員は、新しい血とエネルギーを注入するロータリーの活動源なのです。21世紀にロータリーは隆盛を極め、ロータリーの目的を達成するためには、会員の増強は申すまでもなく、先ず会員の退会防止、取りも直さず会員を維持することでありましょう。キング前RI会長が、「ロータリーの全世界での探究」を開発しましたが、ラタクルRI会長もこれを継続します。2002年5月の時点では、世界的には120万人を超え1997年の最多期に迫りつつありますが、日本は11万5千人であり、1996年の最多期にはまだまだ及びません。特に私たちの第3ゾーンがここ数年ジリ貧状態がつづいており、第2640地区も同様です。

新会員が入会しても、その数よりも退会者が多ければ現状維持は出来ません。現状維持が最低ラインとするならば、現時点では、その最低ラインをいかに維持していくかはクラブに課せられた大きな課題であります。それが実行できれば、会員の増加は間違いありません。転勤や退職、病気、死亡などの自然減少は毎年5～10%あります。クラブ会員維持のためには、この減少を見込んで増強することが必要なのです。近年、自分の仕事に対する重圧、事業不振、ロータリーに対する不満などを理由に退会する方が多くなりました。表

面は一身上とか、経済的な理由を盾にしていますが、一口に言えば、ロータリーに魅力を感じなくなったからではないでしょうか。

会員を維持するためには、先ず**クラブ会員の意識改革**から取り組むことです。何とはなしに会費を払い、気の向くままにロータリーに出席し、奉仕について殆ど無関心の会員は、ただのロータリーの会員であって、ロータリアンではありません。このような会員に対して意識改革し、ロータリーの真髓を理解するよう務めることが必要であります。

新入会員に対してはクラブに入ったという意義付けを印象づけるため、**入会式の感激**を高める工夫が必要であり、一方では新会員が退会の意図をもたないように十分な**ロータリー情報**を与えるようにしなければなりません。退会防止のもう一つのインセンティブは**意義ある例会**にする配慮であります。単なる親睦だけでは、ロータリーの意義が希薄になり、退会を防止する力にはなりません。例会が心の癒し場所という人もおりますが、英国人の午後の紅茶、ドイツ人のビール、スペイン人の昼寝といった安息もエネルギーの充実となっているのですから、そこに**奉仕の理想**という芯棒から振り撒かれる**スパイス**をどのようにうまく**クラブ運営**にアレンジしていくかが大切なことと思います。この**スパイス**が**例会のマンネリ化**を防ぎ、**退会防止**につながると**思います**。

ロータリーライフを身をもって体験し、感動と友情を味わえば、“ロータリーに入ってよかった”と思うようになり、退会することを考えなくなるのではないのでしょうか。

3. 今後の会員増強

第2640地区PDG 堤 啓治



昨年度は、世界的にみて約3万人増と報告されている。地域的には東南アジア、フィリピン、インドが急増しているようです。一方我が国

では4年、5年減少の一途を辿っています。

日本語の「会員増強」は原文(Manual of Procedure 日本語の手続要覧)ではMEMBERSHIP-DEVELOPMENTとあり会員の発展・拡張を意味しています。日本語の増強と言っているのも適語ではあると思うが、「増」のみに力を入れ過ぎた感あり、「増」の方と共に「強」にも努めなければと思います。会員の発展・拡張を考えるならば「評価・反省・実行」が必須です。今まで取って来た方法を評価、反省して次へと進むべきだと思います。1905年4人で発足し現在97年間で約120万と会員となった先輩ロータリアンの努力の結果を充分勉強し、21世紀のロータリーのあり様を考え出さなければと思います。

世界は大きく変化しています。冷戦終結により旧共産圏内に約80のロータリークラブが生まれています。一方経済的には「IT革命」とまで言われ大きく変化しつつあります。又昭和20年(1945年)世界大戦の終結により従来からの国家間の紛争は武力により解決すると言った形が一変して話し合いにより解決しようと度々G7(ロシアが入りG8となる)サミットが開催されています。

これらの大変革期に今後のロータリーの生き方が考えなければと思います。職業分業におきましても多分消える職業あり追加しなければいけない職業もあるでしょう。

結論として会員減少を先づくい止め、自然減を補って現状維持を目標に会員増強に努めたく考えます。会員自身も楽しい人に、又魅力ある人へと努力が必要でしょう。そうすれば楽しい例会であり、魅力あるロータリークラブとなることは必然です。

先づ足元を固め、個人生活、社会生活、職業生活に「四つのテスト」「綱領」の実践に手に手をとって進みたく思います。

4. ガバナー夫人の集い

地区幹事 原 正人



7月6日(土)にガバナー並びにパストガバナー夫人の集いが催されました。

当日は14名のご夫人方の参加がありました。全国的にも有名な大阪府和泉市の久保惣

記念美術館の見学に同行しました。

この日は30度以上の真夏日となり、待合せ場所のアルザホテルの中も汗ばむ程でした。午後2時30分にバスに乗り込み、約30分のドライブを楽しみました。またご夫人方は何度もお会いする機会があるため、車中での楽しい会話がとても弾んでいました。

久保惣記念美術館では快適なエアコンの中で和泉市の職員の方が、展示品についてはもちろんの事、美術館設立の由来であるとか建物の特徴など普段は聞く事の出来ない裏情報

もユーモアを交えながら解説して頂きました。 い一時を過ごさせて頂きました。
ご夫人方を案内するはずの私も、大変楽し

5. クラブ広報・雑誌・会報委員長会議

—— 新ガバナー方針に沿って135名が始動 ——

地区広報・雑誌委員長 川村 克人



7月7日（日）クラブ委員長会議のトップを切って、「広報・雑誌・会報委員長会議」が開催されました。

委員長110名、地区関連者ガバナー他25名、合計135名の大会議です。

1 パストガバナーのお話

まず前田直前ガバナー（クラブ奉仕部門カウンセラー）より、新年度委員長への提言が述べられ、広報活動の強化と活発化が提唱されました。

さらに、亀岡パスト・ガバナー、堤パスト・ガバナーから、広報活動の重要性が一層強くなっている現状が説明され、地域へのイメージの高揚と会員増強に最大の努力を払うべきと、激励されました。

2 ガバナーの方針

1) ラタクル会長のお考えには、強く共鳴出来るものがある。自主性・自発性を尊重し、理事会の裁量も大きくなった。思い切って独自性を出して欲しい。ただそれは、良識を持った責任を伴うものでもあ

る。

2) 広報はまず、自分のクラブ・IM・地区・日本でどのような奉仕活動がなされているか、自分も知り、クラブにも知らせることから発足すべきである。

3) その基本は奉仕活動プログラムをいかに組み立てるかにあり、新聞が真に魅力を感じて取材に来る位になれば素晴らしい。

4) WCSもクラブで考えて欲しい。つながりのある国や地域から始めて、このような奉仕をしようという決断をクラブに求めたい。これも広報の一環であり、ポリオ・財団奨学生等色々な活動が、クラブや地区・日本世界でどうおこなわれているか、委員長は是非把握して欲しい。

5) 地区主導型で行う活動は、クラブ主導と切り離し次のことを行なう。

- ① 地区からRI等世界へ発信する広報活動や世界からの情報蒐集
- ② 規定審議会による規定類の変更に伴う解釈の統一化・・・等となる。

3 各委員長からの説明

続いて広報関連の3地区委員長より、活動計画が説明されました。

川村広報・雑誌委員長

クラブ主導と地区委員のあり方は未だ手探り状態にある。

しかし自主性を助長するためのサポート情報の提供は積極的に進めたいとし、別記地区ホームページ・掲示板・地区委員会報告「広

報・雑誌委員会活動計画-」にそって、「内部広報」と「外部広報」について説明いたしました。特に本年は、週報のOA化、月信のホームページ化、RI情報のウェブサイト化等内部広報の質的転換期にある。外部広報もまた、マスメディアに偏らず奉仕活動を通じた地域の方々の胸を打つ行動こそ肝要と述べました。

さらにクラブ内の情報格差の拡大が懸念され、その解消がクラブの活性化につながることも強調しました。

西山OA化委員長

広報・雑誌委員会からの要請に基づき、地区ホームページ内に「クラブ会報展示プラザ」「クラブ・プロジェクト広報プラザ」(仮称)と称する情報交流の広場新設を提案いたしました。

概ね全体的な賛同が得られたので、7月20日OA化委員長会議で技術的な内容を含め、討議されることとなりました。

上野山広報・情報・規定委員長

本年度は、手続要覧・定款等が改定された時であり、その解釈統一等にかなりの時間が費やされ、しかもすぐ2004年に向けた提案の積極的論議も進める必要があると述べられました。このため、各クラブにアンケート

を回付中であり、8月10日の情報・規定委員長会議で集約した計画を提議する旨説明されました。

4 講評(ガバナー補佐及びガバナーエレクト)

質疑応答の後、まず12名のガバナー補佐から講評を頂きました。

奉仕活動が多種多様化した現代社会では、ロータリーの考え方を正確・適確に伝えるため、広報の積極化が必要という事はほぼ全員のお考えでした。

ただウェブサイトを活用した情報提供には、あまりピッチが早すぎると老年層はフォローし切れなくなると、配慮を要望されました。

前窪ガバナーエレクトは、全国紙への掲載記事が非常に多い和歌山南クラブの実践例を述べられ、マスメディアへのアプローチは日常的で積極的な人脈形成こそ肝要と強調されました。

以上の経緯を得ていよいよ小島年度の広報関連委員会はスタートいたしました。

6. 第4回2002～2003年度長期派遣学生へのオリエンテーション

2001～2002年度長期受入学生への修了証書授与式およびホストファミリーへの感謝状贈呈式

2001～2002年度南半球長期受入学生の紹介 2002～2003年度短期交換学生歓送迎会

青少年交換委員会委員長 井谷 功

日時：2002年7月7日(日) 場所：テクスピア大阪

午前10時から12時まで長期派遣学生に対するオリエンテーションを行いました。今年の派遣学生16名中15名の出席で行われました。

JTB教育旅行、日高課長より現在までの手続き状況の説明に始まり、出発に向けての準備や注意点について質疑応答も交えて話していただきました。

北島地区委員からは小さな親善大使としての義務と責任についての再確認と、出発前の準備、交換期間中にしなければならないこと、交換後に期待することなど例を挙げながら詳しく説明していただいた。そして派遣国のホストクラブやホストファミリーから君たちをホストしてよかった、また来年

も交換しようと言ってもらえるような親善大使を目指してほしい、と結ばれました。



この後、和田青少年委員会顧問の司会で派遣学生一人一人に前に出てもらい親善大使としての決意を日本語、派遣国の言葉でスピーチしてもらいました。自分はモダンダンスをしているのでダンスを通して文化の交流をしたい、通訳になりたい、海外留学は小さい頃からの夢、その国の人たちと友達になって異文化を体験したい、書道を広めたい等それぞれの希望と意気込みを語ってもらいました。

7. 第1回ロータリーの友委員会

2002年7月8日(月)東京プリンスホテルにおいて、第1回ロータリーの友委員会が開催されました。「ロータリーの友委員会」は正・副委員長、特別顧問、顧問、常任委員、地区委員(35地区より選出)により構成されています。「友」地区委員は隔月出席します。

中山義之委員長から新年度方針の説明がありました。その要旨は下記の通りです。

1953年(昭和28年)1月から「ロータリーの友」が毎月発行され、1980年には国際ロータリークラブ理事会で公式地域雑誌に認定されました。2003年(平成15年)1月には創刊50周年を迎えることになります。

この間、「ロータリーの友」を取り巻く環境は著しく変化してきました。

昼の部では、1年間日本の高校で頑張った来日学生に対して修了証書授与式が行われました。来日時はまったく話せなかった日本語も上手に話せるようになり、大阪弁や和歌山弁も覚え楽しいスピーチを披露してくれました。その中でもインドからの留学生の日本語の上達振りにはいつも驚かされます。しっかりした自分の意見を日本語できちり述べられる力には感心します。

子供たちをホストして頂いたホストファミリーの皆様にも労をねぎらって前田直前ガバナーより感謝状が手渡されました。いつもはホストして大変だったと言う感想が多いのですが、今年はいい体験をさせてもらった、子供と別れるのが寂しい、自分の娘とも仲良くなって異文化を体験できた等、好意的な意見が多く出たことはうれしいことでした。

最後にオーストラリアからの留学生Kym Gardnirさんの紹介とこの夏休みの期間中に実施される短期交換プログラムに参加している学生の紹介と壮行会が行われ、小島ガバナーの点鐘で全てのプログラムを終了しました。

第2640「友」地区委員 中野 泰則

- (1) 幅広いロータリアンを意識し、即ち、新会員の啓蒙、高齢者を配慮した編集。
- (2) IT時代の情報提供の観点から電子情報と文字印刷情報のすみわけを意識した編集。
- (3) 会員減少による販売部数の減少などの理由で制作価格を下げる編集。
- (4) 活版印刷から写植印刷への技術変化に対応した編集。

以上の条件を満たすため慎重な検討を委員会並びに編集部共々行った結果

- (1) 雑誌サイズがB5版→A4版
中綴じ製本となりました。
- (2) 総ページは110P→88P
情報は必要不可欠なものに絞り込む。

(3) 紙面構成では大きな文字を使い出来るだけ視覚化を図る。

(4) 即応性を考慮に入れニュースに迅速に対応できるシステムを構築する。

次号から創刊 50 周年を記念にちなんだ記事、新会員のページの新設などを考えています。

従来の姿勢とこれからのロータリーの友委員会方針が大きく違う点が 3 点あります。

第一は、「友」委員会は編集内容について助言、方向付けする立場であって、編集内容に直接関わっていく立場でないというのが従来の姿勢であったが、この姿勢は保ちつつより強力な助言、方向付けを行い編集出版部と密接な係りを持つようにしたい。

第二は、「友」の編集については、自主的な企画、投稿原稿の取捨選択を「友」委員会並びに編集出版部で行うことにいたしました。又、記事の取材も積極的にやりたいと考えております。

第三は、「友」地区委員の役割は、ガバナーの意向を「友」委員会に、又、「友」委員会の意向をガバナー並びに地区内会員に積極的に反映して頂くことです。

ロータリーの友は、ロータリーの機関紙として国際ロータリーの情報は忠実に伝達しなければなりません。機関紙であると同時に同人誌として、日本のロータリアンの思いを素直に掲載したいと考えています。

以上

8. 事務職員研修セミナー

日 時 : 2002年7月13日(土)

午前11時30分 登録

午後12時15分 昼食

午後2時～ 研修会

場 所 : ホテルサンルート関空

出席者 : ガバナー、

地区幹事 5名、

ガバナー事務職員 2名、

クラブ事務職員 67名

(75クラブ中9クラブ欠席)



7月13日(土)、ホテルサンルート関空にて、『事務職員研修セミナー』が開催されました。ホテル最上階での昼食は、あいにくの曇空のため、折角の景

色が少しかすみ気味だったのですが、女性ばかりの会場は、終始笑い声が絶えず、楽しいランチタイムが繰り広げられていました。(デザートにケーキが出なかった事が残念だったのですが…)

午後2時より、会場を変更し、本題の研修セミナーが始まりました。まずは小島ガバナーのご挨拶。内容は、R Iへの送金方法、6月末・7月1日の会員数の数え方の問題、今年度から大幅に変更されたクラブ事務局への事務連絡について。そして、高寺代表幹事からは、ガバナー事務所ホームページの見方から、インターネットの有意義な?使用方法について、丁寧なご指導がありました。

コーヒードリンクの後、クラブ事務局様からの質疑応答では、活発、且つ、具体的な質問が相次ぎ、かなり内容の充実した研修会になりました。

クラブ事務職員の皆様は、日々それぞれ工夫された事務処理をなされているようで、感激いたしました。ガバナー事務所でも、スムーズなクラブ運営をサポートしていかなければ…と思いました。

(ガバナー事務所 阪口 やよい)

9. 公式訪問が始まります・・・公式訪問に際してのお願い

1. 公式訪問時の

- ① 2週間前までに、クラブの年度計画書、1ヶ月分以上の週報をガバナー事務所にお届け下さい。
- ② ガバナーに対する質問等は前もってFAXでガバナー事務所までお送り頂くと有難いです。詳しい数字等はその場で分かりかねますので。
- ③ ガバナー補佐は公式訪問に同席致しますが、地区幹事は同席しない場合もあると思えます。

2. 会長・幹事さんとの懇談会

クラブ会長、幹事さんとガバナーとの懇談会は年に一度の機会であります。この時間を有意義に過ごすために事前準備を十分にお願ひします。クラブ独自の奉仕活動の事例等は必ず御発表願ひます。会長エレクトが同席されるか否かはクラブにお任せします。

公式訪問は合同例会ですが、「会長・幹事懇談会」も合同で行うのか、単独のクラブ別に行うのかはクラブでお決め下さい。どちらでも結構ですが、単独クラブの場合で1時間、多クラブ合同の場合は、それ以上の時間をご用意下さい。

事前にガバナー補佐がアセンブリーにお伺ひし、その報告を聞いております。1時間足らずの短い時間ですが、この数少ない機会を有意義に過ごしたいと思ひます。この懇談会にはガバナー補佐が同席致します。

3. 公式訪問例会

年に一度の機会です。ガバナー・アドレスの時間を35-40分とって頂けないでしょうか。例会後、会員さんとのインフォーマルな懇談会をご希望でしたら、その様にご手配下さい。本音の質問等をお受けしたいと思ひております。

4. クラブ協議会

クラブの役員、理事、委員長、委員の皆様とガバナー補佐が、クラブの活動計画、当面の諸問題について協議する機会です。リラックスして率直な話

し合いができる様にご手配下さい。新入会員の参加を強く希望します。

- ① クラブ協議会は公式訪問の2週間以上前に開催をお願いします。
- ② 協議に当って、報告書に記載されている事項については補佐が事前に読んでおります。記載されていない過去の成功・失敗例、計画に際しての問題等を発表して頂くことを期待しております。
- ③ 2時間以上になる場合が多いと思われます。適当に休憩をお考え下さい。

皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。

尚、お土産等のご配慮は無用です。

**2004～2005年度
ガバナー・ノミニ候補者推薦の
お願い**

地区ガバナーにふさわしい方を指名委員会宛にご推薦下さい。

各クラブからの推薦は9月20日までとなっております。

地区指名委員会 ガバナー事務所

〒 595-0062

大阪府泉大津市田中町 10-7

泉大津商工会議所会館 1F

T E L : 0725-23-7264

F A X : 0725-23-9264

E-Mail : kojima-s@eagle.ocn.ne.jp

10. 第93回国際ロータリー一年次大会 BARCELONA SPAIN 2002

6月19日(水)の朝9:50、関西国際空港を離陸し、約12時間の長旅の後、乗り継ぎのドイツのフランクフルトに14:45頃(現地時間)到着。ここで、管制官のストライキのため、予定のニース(フランス)行きの飛行機がキャンセルになるというハプニングに遭遇。急遽、イタリアのミラノ行きの飛行機に乗り換え、19日は予定外のミラノ泊まり。

次の日から、バスでの移動で、6月20日(木)はカジノやF1レースで有名なモナコのモンテカルロ、6月21日(金)はサンベネゼ橋の歌で知られたフランスのアビニョン、6月22日(土)はスペイン国境近くのフランスの田舎町ペルピニャンと泊まりを重ね、6月23日(日)の開会式の午前中に、世界大会の開催地バルセロナに到着しました。

海岸沿いのレストランで昼食を済ませ、14:00会場のモンジュイックの丘につきました。ここは万国博覧会やオリンピック会場となったところです。早速、友愛の広場がある「フィラ・デ・バルセロナ」(ビクトリア・エウヘニア・ホール)に行き、ペナントやバッジの交換、親睦、ショッピングなどを楽しみました。ただ、ツアースケジュールの関係で、友愛の広場には30分程度しか時間が取れなかったことが残念でした。

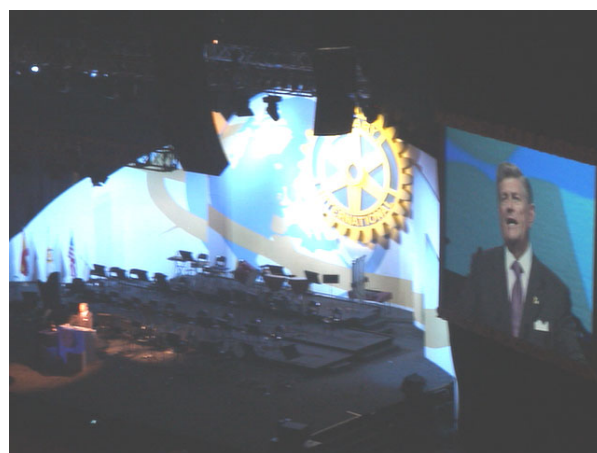


大会会場前で(前田ガバナー夫妻と)

開会式はサン・ジョルディー・スポーツ・アリーナで15:00に始まりました。会場はほぼ満員で、入場が直前になったため、最上階の席しかなく、小さな人形を見ているような感じでした。オープニング

セレモニーの後、参加国の紹介、カルロ・モンティチェリ大会委員長、リチャードD.キング会長の挨拶と続きました…。開会式の途中ですが、今夕のジャパンナイト会場へ移動のため、16:30頃に開会式会場を抜け出し、ホテルへ向かいました。

開会式で、いちばん盛り上がっていたのは、参加国の紹介の時で、あとは大会会長が点鐘を忘れそうになったこと、キング会長は噂通りのスピーチ好きなどが印象に残った程度でした。



キング会長の挨拶



小島ガバナーエレクトの挨拶(ジャパンナイト)

夕刻よりバルセロナのアリマラホテルで、国際ロータリー第2640地区のジャパンナイトが開催されました。出席者は前田ガバナー夫妻、小島ガバナー・エレクト夫妻をはじめ、約160名でした。開会直前に千宗室大阪世界大会実行委員長が突然会場に現れ、飛び入り参加の申し出がありました。準備して

いるロータリアン(殿方)は突然のことで、多少バタバタしましたが、奥様方は千宗室家元を囲んで一緒に写真を撮るなど楽しんでいるようでした。開会時間の19:00になっても、小島ガバナー・エレクトが到着しないというハプニングもありましたが、予定どおり山田オン・ツウ・バルセロナ委員長の挨拶で始まりました。

続いて、新宅国際奉仕部門委員長、前田ガバナー、千宗室大阪世界大会実行委員長の挨拶と続き、この後小島ガバナー・エレクトの遅刻お詫びと挨拶があり、一連のセレモニーが終わり、亀岡パスト・ガバナーの乾杯で祝宴(親睦)の開始です。



神谷地区幹事のフラメンコ

アトラクションはご当地のフラメンコ。神谷地区幹事(和歌山東南RC)も素晴らしい踊りを披露し、喝采を浴びました。



最後に大澤パスト・ガバナーの中締めがありお開きとなりました。

翌24日(月)は、バルセロナ市内観光を楽しみました。午前中は、天才建築家アントニオ・ガウディの遺産、グエル公園、サグラダ・ファミリア(聖家族教会)などを見学。午後は郊外のモンセラ修道院の観光に行きました。

25日(火)の早朝、空路バルセロナを出発し、ミュンヘン、フランクフルトを經由し、帰国の途につきました。26日(水)の朝、梅雨空の関西国際空港に到着し、旅は終わりました。ヨーロッパでの1週間は天候に恵まれ、カラッとした炎天下で過ごしたため、飛行機を降りた途端に日本の湿ったムッとした気候に不快指数が上がりました?

(2002-03 地区代表幹事 高寺 寿)

ガバナー事務所からのお知らせ

ガバナー事務所夏期休暇のお知らせ

8月14日(水)～16日(金)の間、ガバナー事務所は夏期休暇とさせていただきます。

研究グループ交換(GSE)委員長変更のお知らせ

今年度のGSE委員長の井出俊一氏(大阪狭山RC)が退会されたため、当分の間、岩本行弘財団部門委員長(富田林南RC)がGSE委員長を兼任します。

月信別梓掲載のお知らせ

地区委員会活動計画

今年度は合同地区委員会を開催いたしません。各委員会の活動計画は、

ホームページの「**掲示板 6. 地区・委員会報告 ④地区委員会の活動計画**」に掲載しますので、ご覧ください。

クラブ活動の紹介

各クラブの奉仕活動等は

ホームページの「**掲示板 7. クラブ奉仕活動の様子**」に掲載しますので、ご覧ください。

今回は、

- ・ 御坊東RC：図書寄贈に寄せて

を掲載します。ご覧ください。

ロータリーの友 事務局からのお知らせ

ホームページの「**掲示板 5. 月信別梓掲載項目 ⑰ロータリーの友事務局からのお知らせ**」に掲載します。ご覧ください。

- ・ 「ロータリーの友」英語版 受付中
- ・ ロータリーソング CD・楽譜集の案内

ハイライトよねやま

ホームページの「**掲示板 5. 月信別梓掲載項目 ⑱ハイライトよねやま**」に掲載します。ご覧ください。

- ・ ハイライト米山28
2002-03 年度事業計画と予算決まる
寄付金速報 他

ガバナー事務所

所在地 〒595-0062
大阪府泉大津市田中町 10-7
泉大津商工会議所会館 1F
(南海本線泉大津駅下車海側徒歩 2 分)

電 話 0725-23-7264
F A X 0725-23-9264
E - M a i l kojima-s@eagle.ocn.ne.jp

勤務時間 月～金 10:00～17:00
(土・日・祝は休ませて頂きます。)

事務職員 林 佐希子 阪口 やよい